

糸魚川市観光統計

(令和元年度版)



(令和元年7月6日「神話の縁結び かみがたりネットワーク」調印式)

糸魚川市産業部商工観光課

令和2年6月

目次

◆ 調査概要

1 調査の期間	1
2 調査方法	1
3 調査地点	1

I 令和元年度の糸魚川市の観光の現状

1 令和元年度の観光客の入込状況（概況）	2
2 令和元年度の月別・目的別観光入込客数	2
(1) 月別観光入込客数	
(2) 目的別観光入込客数	
3 令和元年度の目的別観光入込客数の前年度比較	4
(1) 温泉施設	
(2) 自然景観	
(3) 名所・旧跡	
(4) 文化施設	
(5) 産業観光	
(6) 祭・イベント	
(7) 海水浴	
(8) スキー場	
(9) 登山・ハイキング・キャンプ場	
(10) その他（ゴルフ場・釣り・プール等）	

II 令和元年度の宿泊者の入込状況

1 令和元年度の宿泊者の入込状況（概況）	9
2 令和元年度の月別・割合別宿泊者数	9
(1) 月別宿泊者数の前年度比較	
(2) 方面別宿泊施設入込客数	
3 外国人宿泊者数	11

III 過去の入込客統計調査との比較

1 観光入込客数の推移	12
2 目的別観光入込客数の推移と新潟県入込客数との比較	13
(1) 温泉施設	
(2) 海水浴	
(3) スキー場	
3 宿泊者数の推移と新潟県入込客数との比較	14
4 外国人宿泊者数の推移と新潟県入込客数の比較	15

IV 経済効果

1 観光庁「旅行・観光消費動向調査」における経済効果	16
2 糸魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果	17

V 令和元年度に講じた施策

1 誘客宣伝活動の促進	18
2 受入態勢の充実	20

◆ 調査概要

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」(平成 21 年 12 月観光庁策定)に準拠し、観光入込客数などを推計したものである。

1 調査の期間

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

2 調査方法

(1) 観光入込客統計調査

四半期ごとに、市内の観光地点の管理者、祭行事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計した。

(2) 宿泊客数調査

四半期ごとに、市内の宿泊施設に対して県内から来訪者した宿泊者と県外から来訪した宿泊者を分けて宿泊客数を調査し、集計した。

(3) 海水浴客入込客数調査

海水浴場開設期間中に 10 日ごとに入込客数を調査し、集計した。

3 調査地点

観光入込客調査地点は以下の 118 か所である。

対 象	主な施設名称	対象地点数
温泉	柵口温泉、姫川温泉等	14
自然景観	高浪の池、小滝川ヒスイ峡等	9
名所・旧跡	翡翠園、相馬御風宅、親不知レンガトンネル等	7
文化施設	ジオパル、フォッサマグナミュージアム等	9
産業施設	マリンドリーム能生、ヒスイ王国館等	8
祭・イベント	おまんた祭り、荒波あんこう祭り等	42
海水浴	能生海水浴場、糸魚川海水浴場、親不知海水浴場等	6
スキー場	シーサイドバレースキー場、シャルマン火打スキー場	2
登山・ハイキング・キャンプ場	雨飾山登山、荒崎キャンプ場等	14
その他	糸魚川カントリークラブ、溪流釣り等	7
合 計		118

I 令和元年度の糸魚川市の観光の現状

1 令和元年度の観光客の入込状況(概況)

- 令和元年度は、自然景観や名所・旧跡への入込数が増加したが、スキー場や温泉の落ち込みにより、前年比で96.2%となった。
- 夏季の梅雨明けの遅れ、秋季の大型台風による北陸新幹線の運休、冬季の少雪のほか、2月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、入込数が減少した。

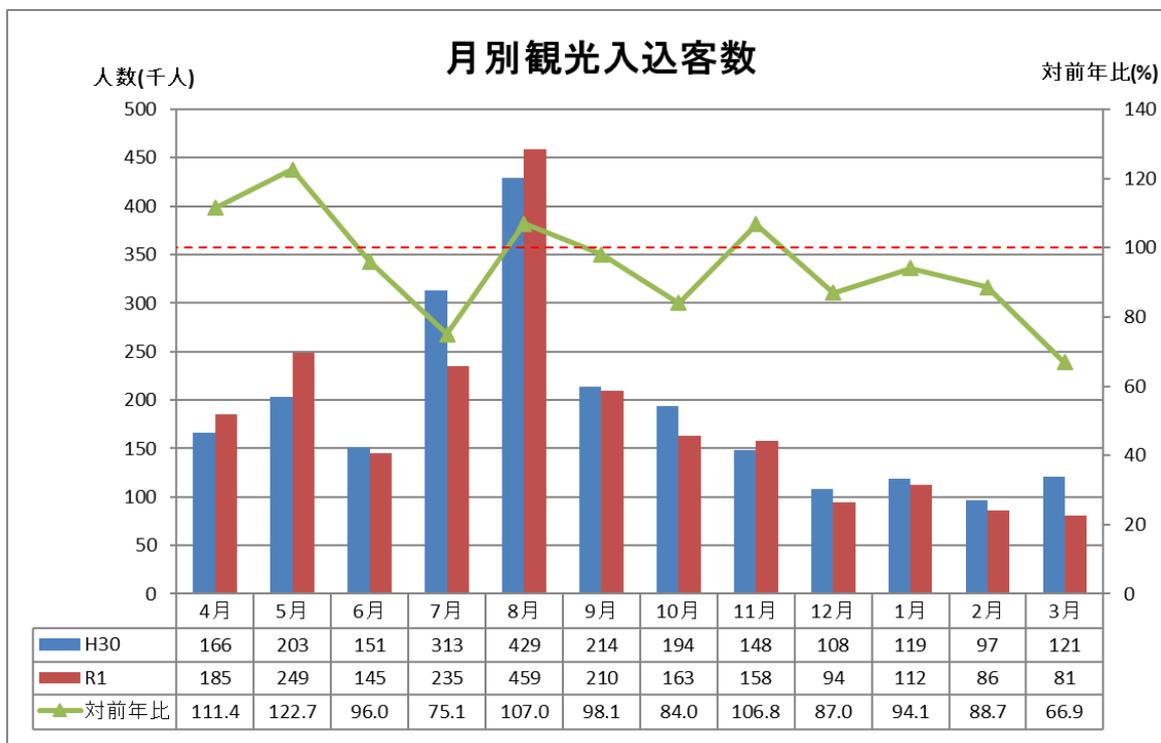
総数 2,177,480 人 (対前年比 96.2%、85,540 人減)

※ 平成30年度総数 2,263,020 人

2 令和元年度の月別・目的別観光入込客数

(1) 月別観光入込客数

- 前年同様8月が月別で最大の入込数を記録した。遅い梅雨明けの反動もあり、自然景観や登山、キャンプの入込数が増加し、前年より入込数が増加した。
- 改元による大型連休となった4月・5月は、どの目的別においても入込数が増加した。
- 7月の長梅雨、冬季の少雪に伴うスキー場の営業日数の減少により、入込数が大きく減少した。



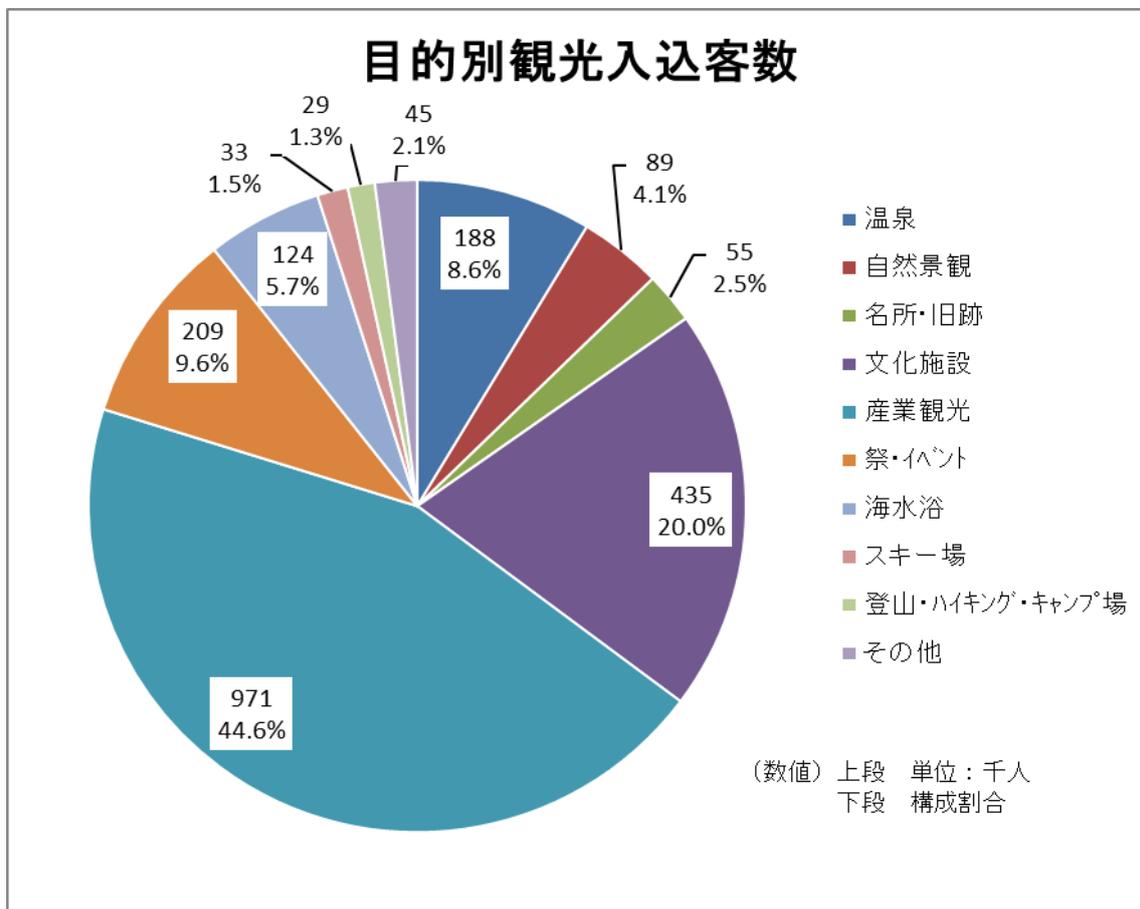
(2) 目的別観光入込客数

- 産業観光が全体の44.6%を占めており、次いで文化施設、祭・イベントの順となった。
- 自然景観や名所・旧跡の入込数が増加したほかは、長梅雨・大型台風・少雪の影響を受け、多くの区分で入込数が減少した。

(千人)

区分	R1	H30	前年差	対前年比	構成比	地点数
温泉	188	218	△30	86.2%	8.6%	14 地点
自然景観	89	80	9	111.3%	4.1%	9 地点
名所・旧跡	55	45	10	122.2%	2.5%	7 地点
文化施設	435	464	△29	93.8%	20.0%	9 地点
産業観光	971	986	△15	98.5%	44.6%	8 地点
祭・イベント	209	209	0	100.0%	9.6%	42 地点
海水浴	124	137	△13	90.5%	5.7%	6 地点
スキー場	33	54	△21	61.1%	1.5%	2 地点
登山・ハイキング・キャンプ場	29	28	1	103.6%	1.3%	14 地点
その他	45	42	3	107.1%	2.1%	7 地点
合計	2,177	2,263	△86	96.2%	100.0%	118 地点

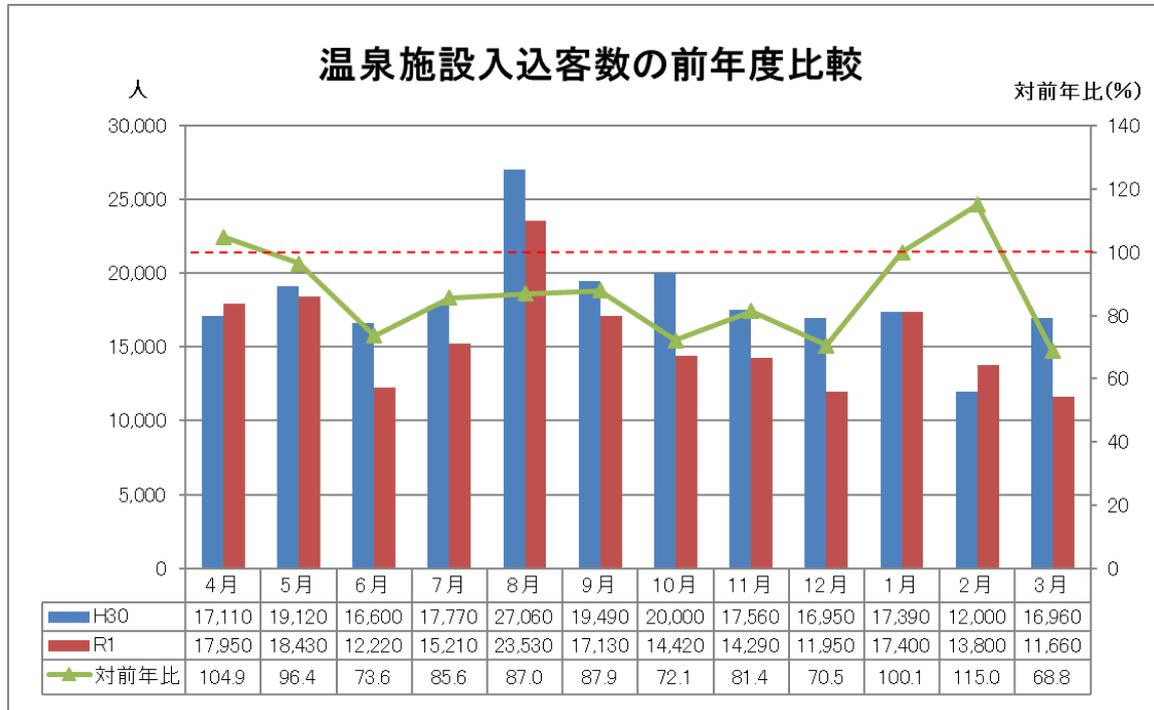
※四捨五入したため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。



3 令和元年度の目的別観光入込客数の前年度比較

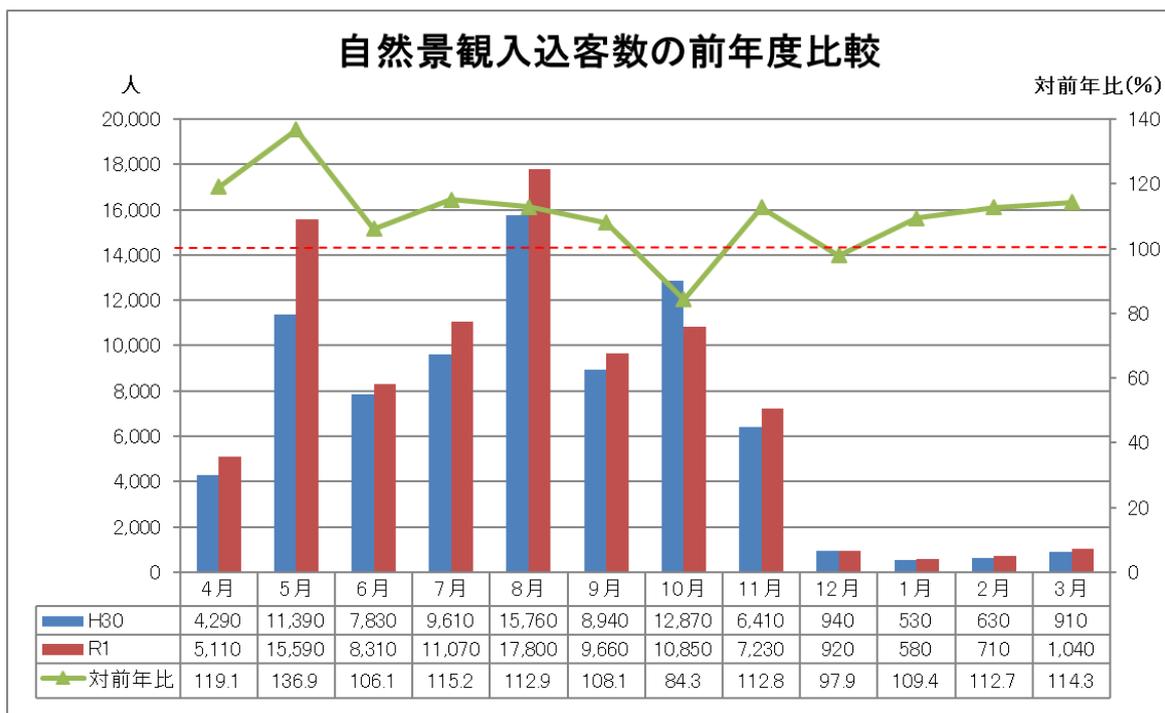
(1) 温泉施設

- ◇ 令和元年度 187,990 人（平成 30 年度 218,010 人） 前年比 86.2%、30,020 人減
- 前年同様、8月の入込数が年間を通じて最も多い。
- ふるさと旅行券の発売により2月は前年比 115.0%となったが他の月は入込数が減少した。



(2) 自然景観

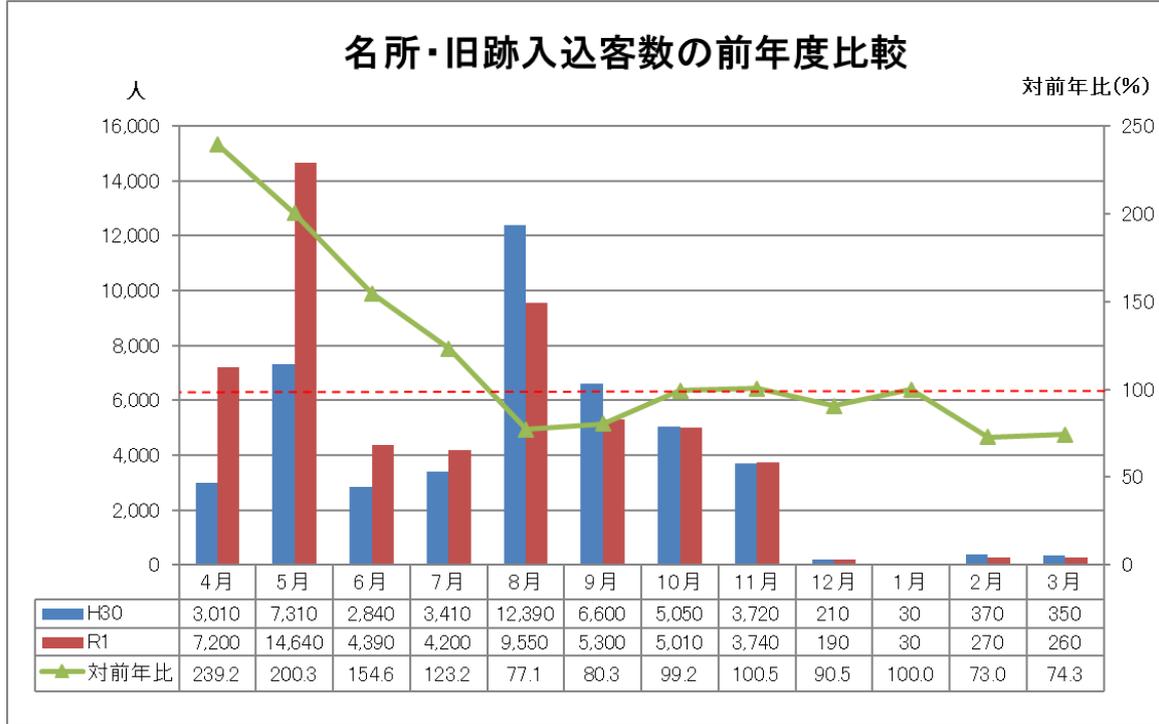
- ◇ 令和元年度 88,870 人（平成 30 年度 80,110 人） 前年比 110.9%、8,760 人増
- 10月は大型台風の影響を受けたものの、通年で入込数が増加した。



(3) 名所・旧跡

◇ 令和元年度 54,780人（平成30年度45,290人） 前年比121.0%、9,490人増

○ 前年7月のフォッサマグナパークのリニューアルにより、春季は前年比で大きく増加した。

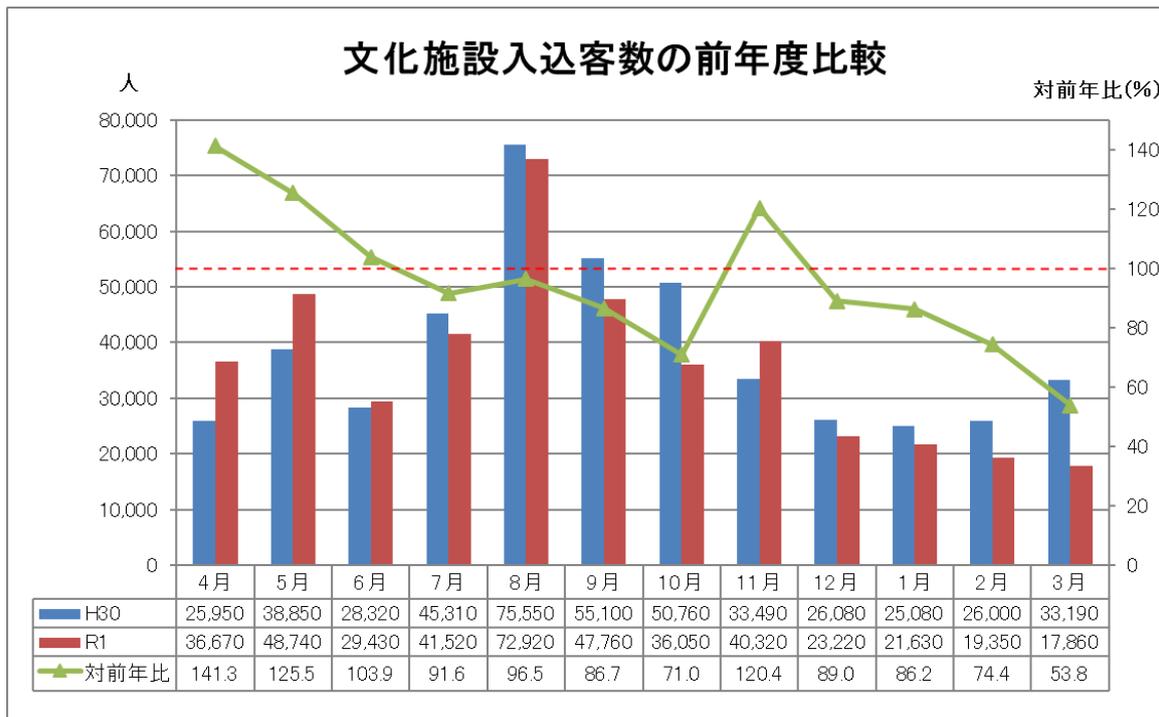


(4) 文化施設

◇ 令和元年度 435,470人（平成30年度463,680人） 前年比93.9%、28,210人減

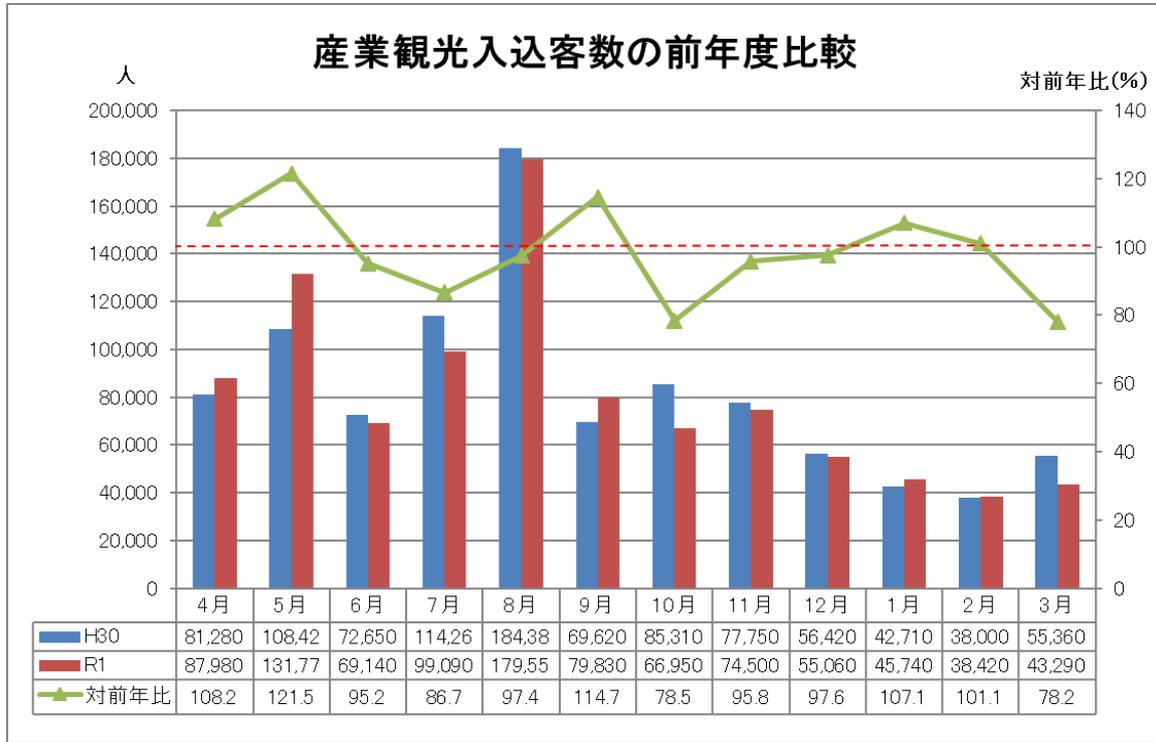
○ フォッサマグナパークのリニューアルにより、関連施設であるフォッサマグナミュージアムの4月・5月の入込数が増加した。

○ 11月は、10月の大型台風による北陸新幹線運休からの回復により、前年比120.4%となった。



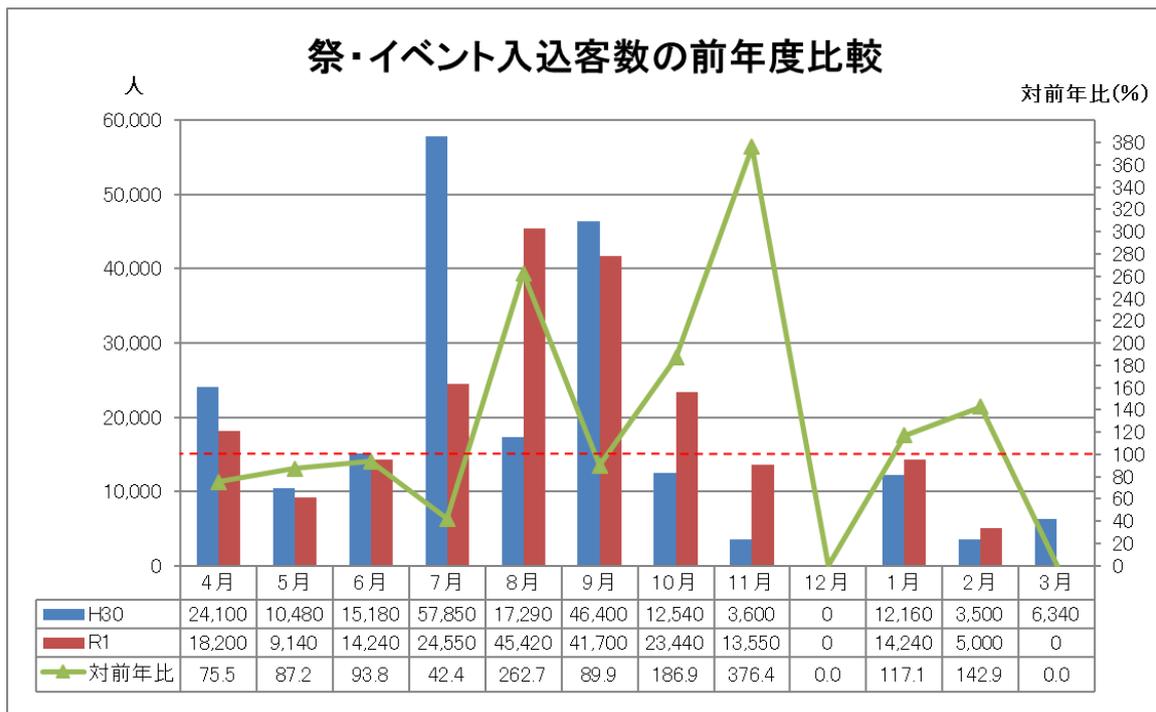
(5) 産業観光

- ◇ 令和元年度 971,320人（平成30年度986,160人）前年比98.5%、14,840人減
- 4月・5月は大型連休、1月は少雪により人の動きがあり、入込数が増加した。
- 長梅雨と大型台風の影響により、7月と10月で入込数が減少した。



(6) 祭・イベント

- ◇ 令和元年度 209,480人（平成30年度209,440人）前年比100.0%、40人増
- 食の嵐や新規事業の実施があったが、天候不順などにより実施できない事業もあり、入込数は昨年同様となった。

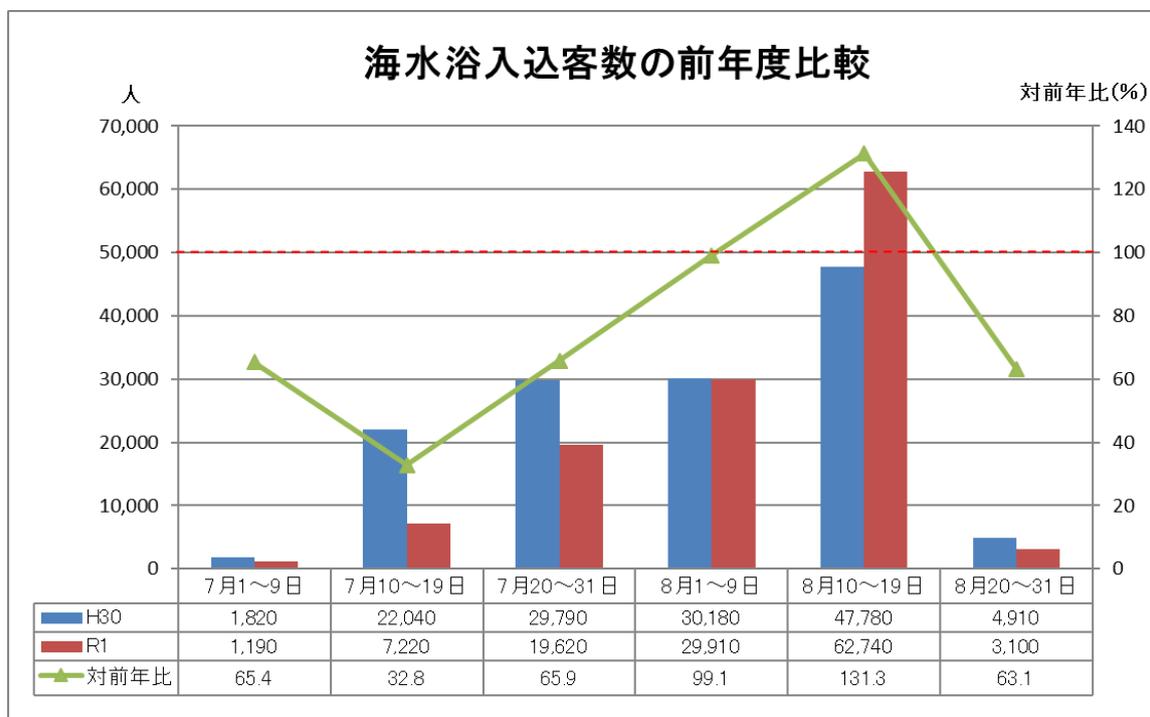


(7) 海水浴

◇ 令和元年度 123,780人（平成30年度136,520人）前年比90.7%、12,740人減

○ 7月は天候不順により、特に能生地域において大幅に入込数が減少した。

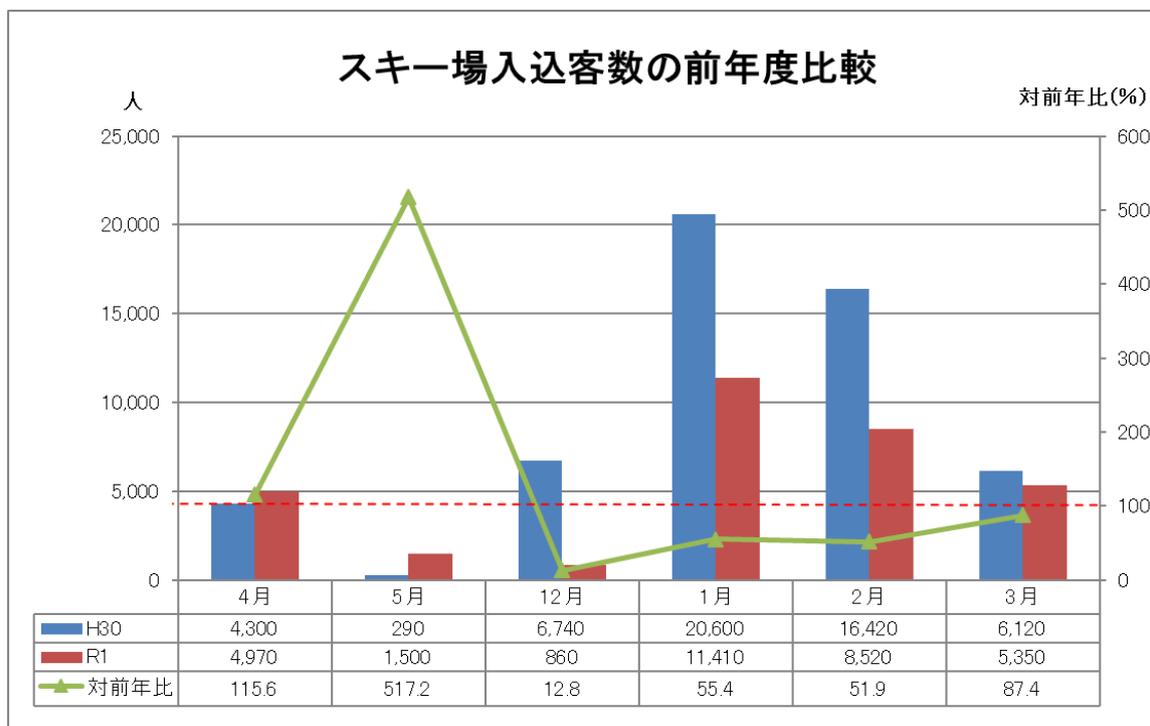
○ 糸魚川・親不知の海岸では、石拾いの観光客が増加傾向にある。



(8) スキー場

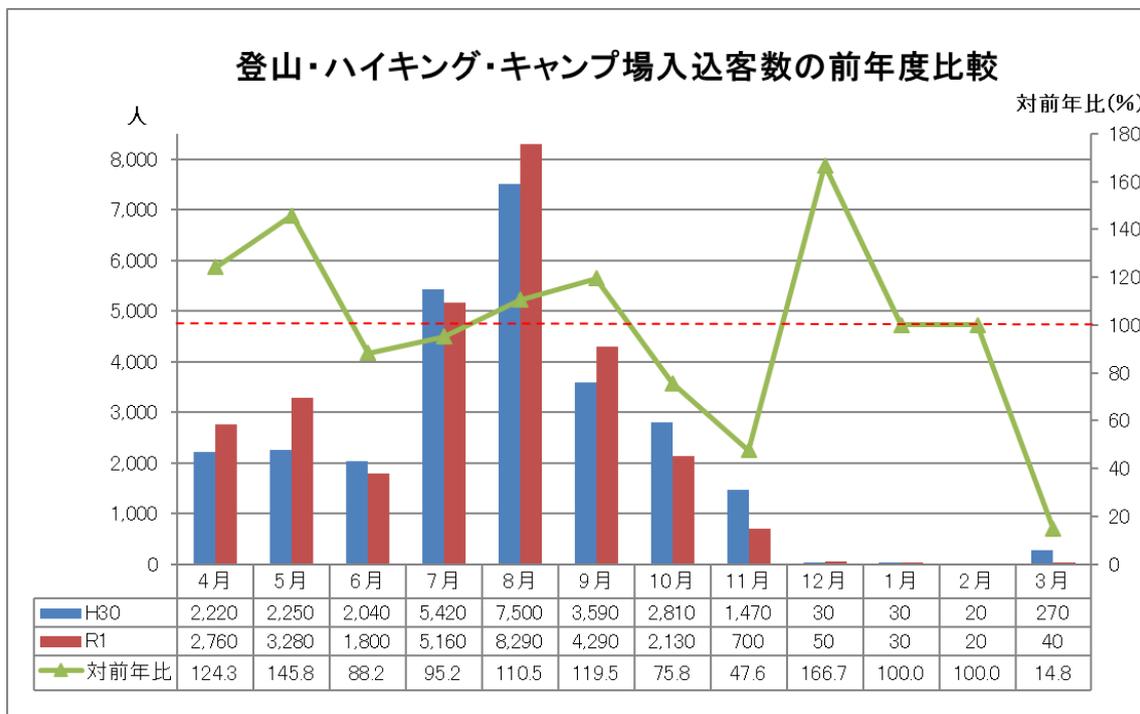
◇ 令和元年度 32,610人（平成30年度54,470人）前年比59.9%、21,860人減

○ 少雪により、シーサイドバレースキー場が開業できず、大幅に入込数が減少した。



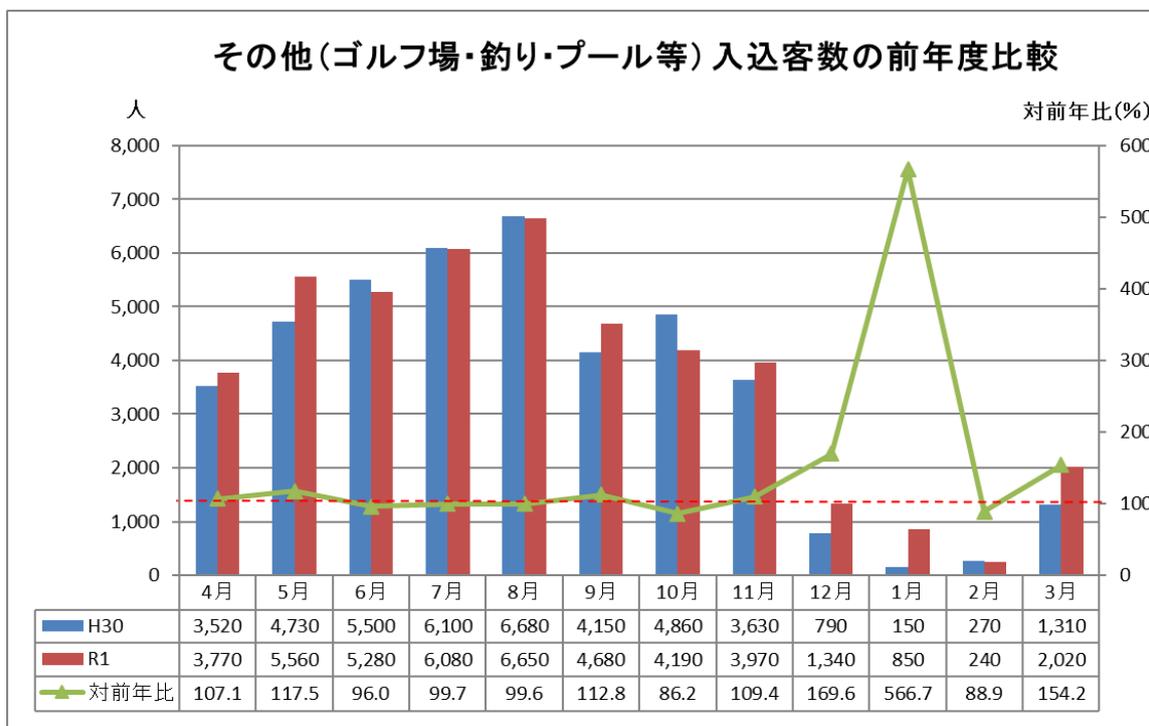
(9) 登山・ハイキング・キャンプ場

- ◇ 令和元年度 28,550人（平成30年度 27,650人） 前年比 103.3%、900人増
- 秋季は、10月の台風の影響により入込数が減少した。
- 須沢オートキャンプ場は、年々利用者数が増加している。



(10) その他（ゴルフ場・釣り・プール等）

- ◇ 令和元年度 44,630人（平成30年度 41,690人） 前年比 107.1%、2,940人増
- 冬季は少雪による営業日数の増加により、屋外施設の入込数が増加した。



Ⅱ 令和元年度の宿泊者の入込状況

1 令和元年度の宿泊者の入込状況（概況）

- 例年 20 万人弱の宿泊があり、県外宿泊者がおよそ 7 割を占めている。
- 令和元年度は、冬季は糸魚川市ふるさと旅行券の発売により宿泊者数が増加したものの、秋季の大型台風による北陸新幹線の運休により、全体として減少した。

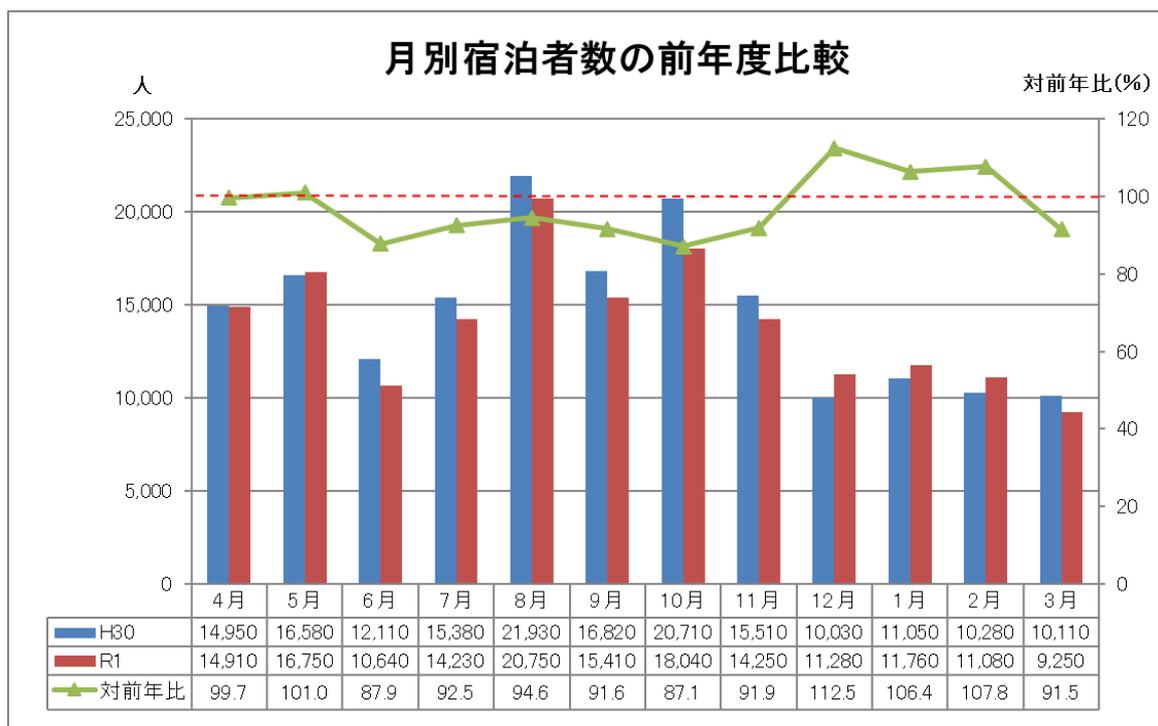
総数(推計) 168,350 人 (対前年比 95.9%、7,110 人減)

※ 平成 30 年度総数 175,460 人

2 令和元年度の月別・割合別宿泊者数

(1) 月別宿泊者数の前年度比較

- 大型連休となった春季は入込客ほどの伸びはなかったが、冬季は少雪による移動のしやすさと、糸魚川市ふるさと旅行券の発売により宿泊者数が増加した。
- 例年、夏休みの 8 月と工場の定期検査がある 10 月に宿泊者が多い。



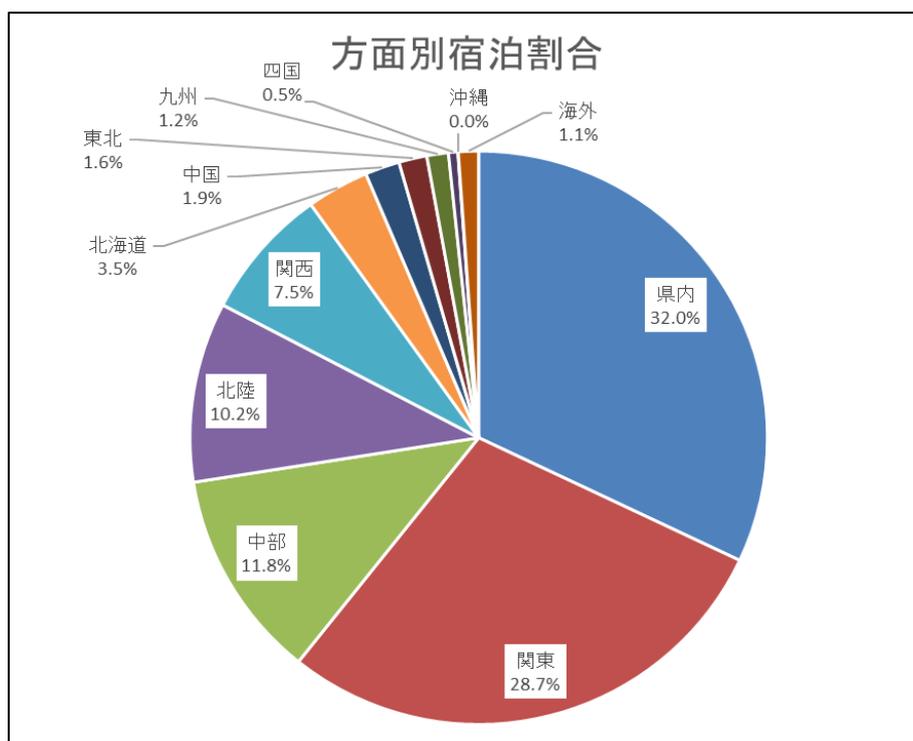
(2) 方面別宿泊施設入込客数

- 令和元年度から調査施設を増やし、市内宿泊施設 38 か所の方面別入込客数で、県内 32%、県外 68%の割合となっている。
- 県外では、関東地方が全体の約 3 割を占めており、次いで中部地方、北陸地方となっている。

(人)

地 域	R1	構成比	H30 構成比
県内	53,930	32.0%	26.9%
関東	48,310	28.7%	27.4%
中部	19,840	11.8%	12.4%
北陸	17,090	10.2%	13.3%
関西	12,560	7.5%	9.0%
北海道	5,860	3.5%	0.2%
中国	3,260	1.9%	2.4%
東北	2,650	1.6%	1.8%
九州	2,030	1.2%	0.8%
四国	890	0.5%	2.1%
沖縄	30	0.0%	0.0%
海外	1,900	1.1%	3.7%
合 計	168,350	100.0%	100.0%

※H30 構成比は、主要温泉宿泊施設 10 か所を対象としている

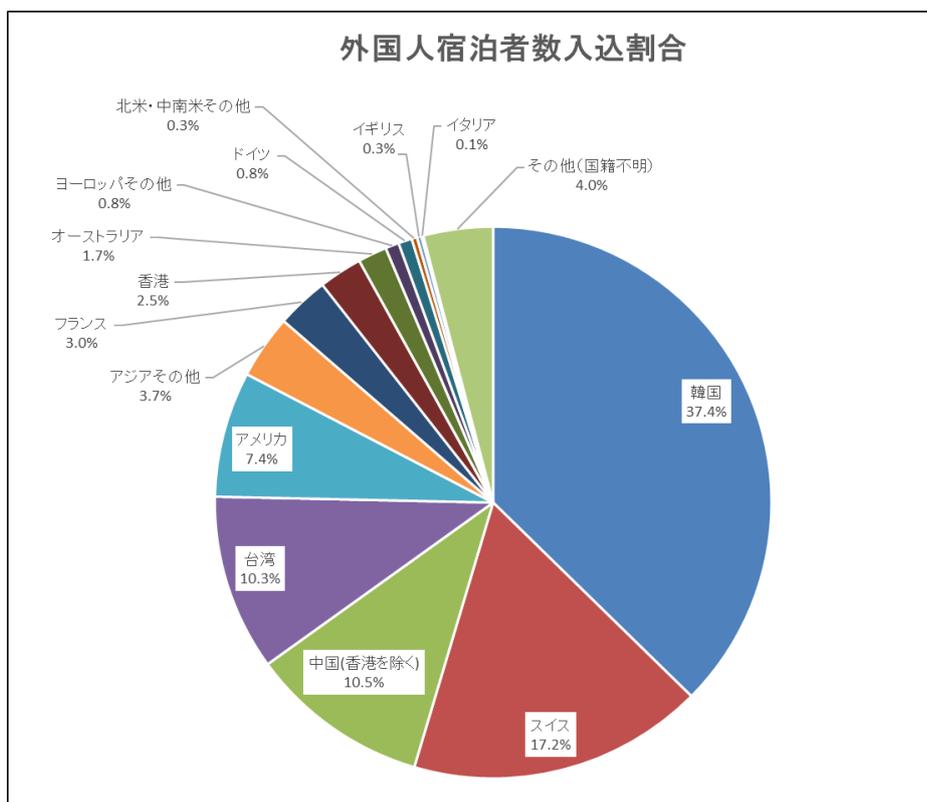


3 外国人宿泊者数

- インバウンド受入推進や北陸新幹線開業により、外国人宿泊者数は増加傾向となっている。
- 日韓情勢の影響から、夏季以降の韓国人旅行者が激減した。
- 新型コロナウイルスの世界的な流行による海外渡航制限などが影響し、外国人宿泊者数は前年比で62.9%となった。

(人)

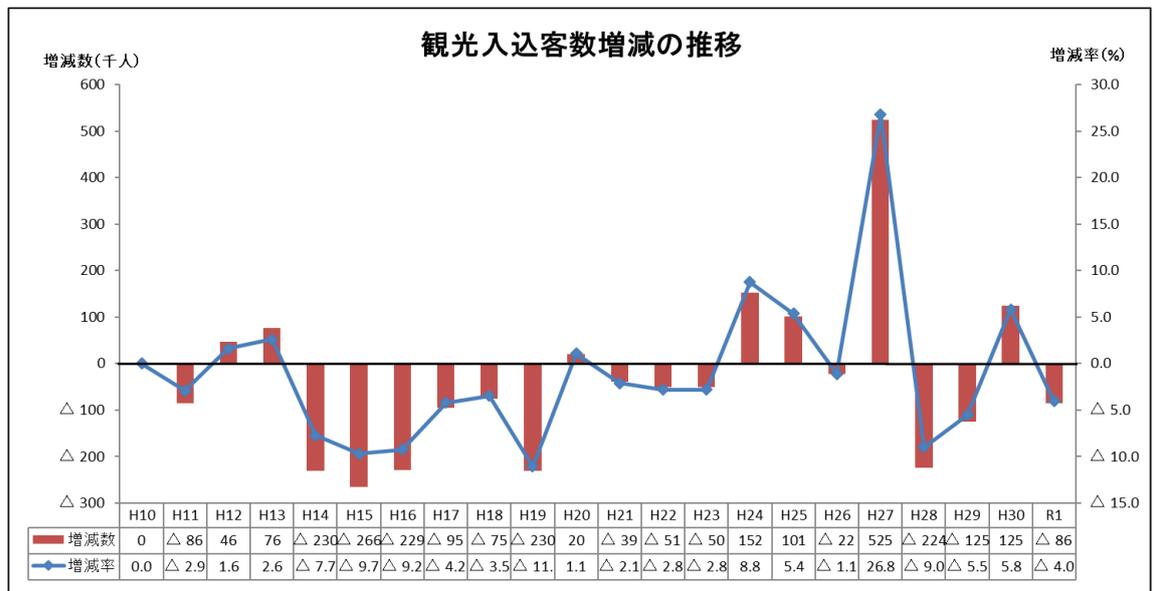
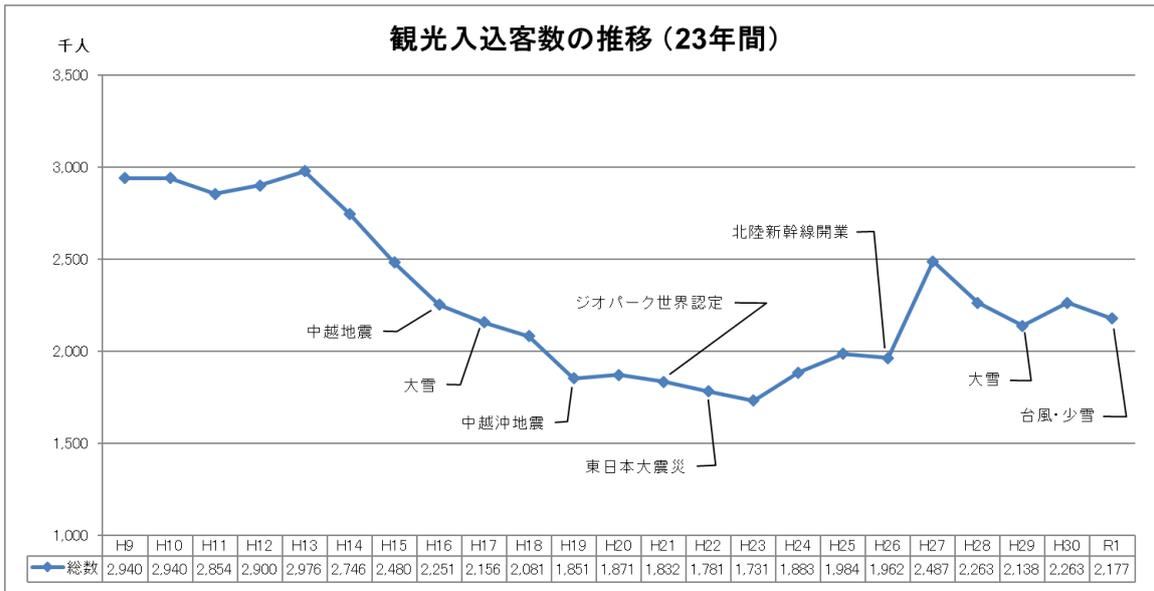
国・地域	R1	H30	対前年比	構成比
韓国	711	1,706	41.7%	37.4%
スイス	327	202	161.9%	17.2%
中国(香港を除く)	199	69	288.4%	10.5%
台湾	196	104	188.5%	10.3%
アメリカ	140	51	274.5%	7.4%
アジアその他	71	99	71.7%	3.7%
フランス	58	9	644.4%	3.0%
香港	48	163	29.4%	2.5%
オーストラリア	32	69	46.4%	1.7%
ヨーロッパその他	15	38	39.5%	0.8%
ドイツ	15	16	93.8%	0.8%
北米・中南米その他	6	9	66.7%	0.3%
イギリス	5	7	71.4%	0.3%
イタリア	2	0	-	0.1%
カナダ	0	9	-	0.0%
ベルギー	0	2	-	0.0%
ブラジル	0	1	-	0.0%
その他(国籍不明)	77	472	16.3%	4.0%
合計	1,902	3,026	62.9%	100.0%



Ⅲ 過去の入込客統計調査との比較

1 観光入込客数の推移

- 平成 13 年度の 297 万人から減少していたが、平成 24 年度から回復基調にある。
- 平成 27 年度は北陸新幹線の開業効果により、ジオステーションジオパル、フォッサマグナミュージアム等の文化施設の入込客が増加したため大幅に伸びている。
- 北陸新幹線開業効果が落ち着いたため、平成 28・29 年度の入込客は減少傾向となった。

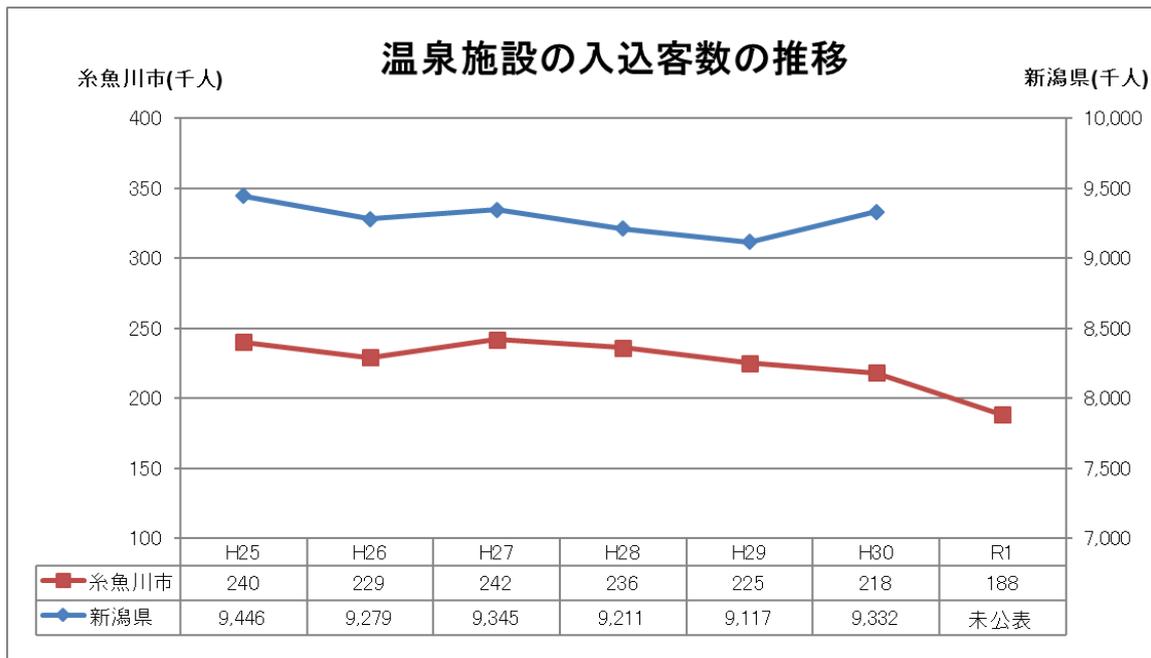


2 目的別観光入込客数の推移と新潟県入込客数との比較

目的別の観光入込客数を集計した。なお、参考のために新潟県の目的別入込客数(公表値)を図表に加えた。新潟県の入込客数の推移と同様の傾向を示すものについては、新潟県全体において影響となる要因があると考えられる。

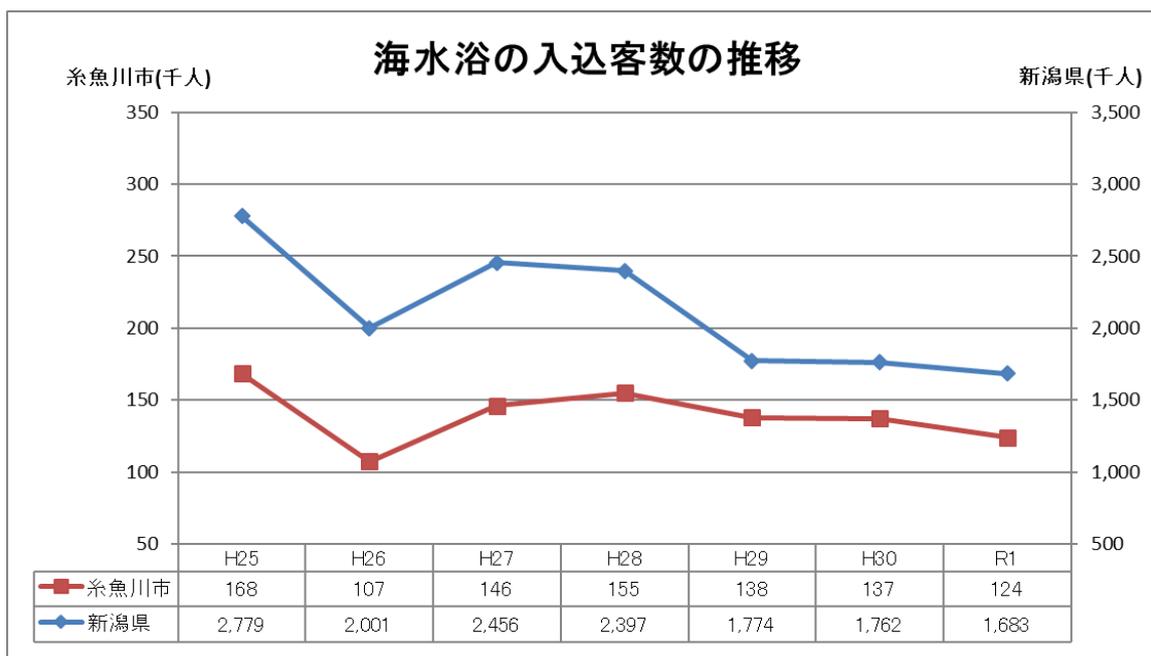
(1) 温泉施設

- 新潟県内の温泉施設の入込数は、ほぼ横ばいの傾向にある。
- 糸魚川市内の温泉施設の入込数は、平成 27 年度をピークに減少傾向となっている。



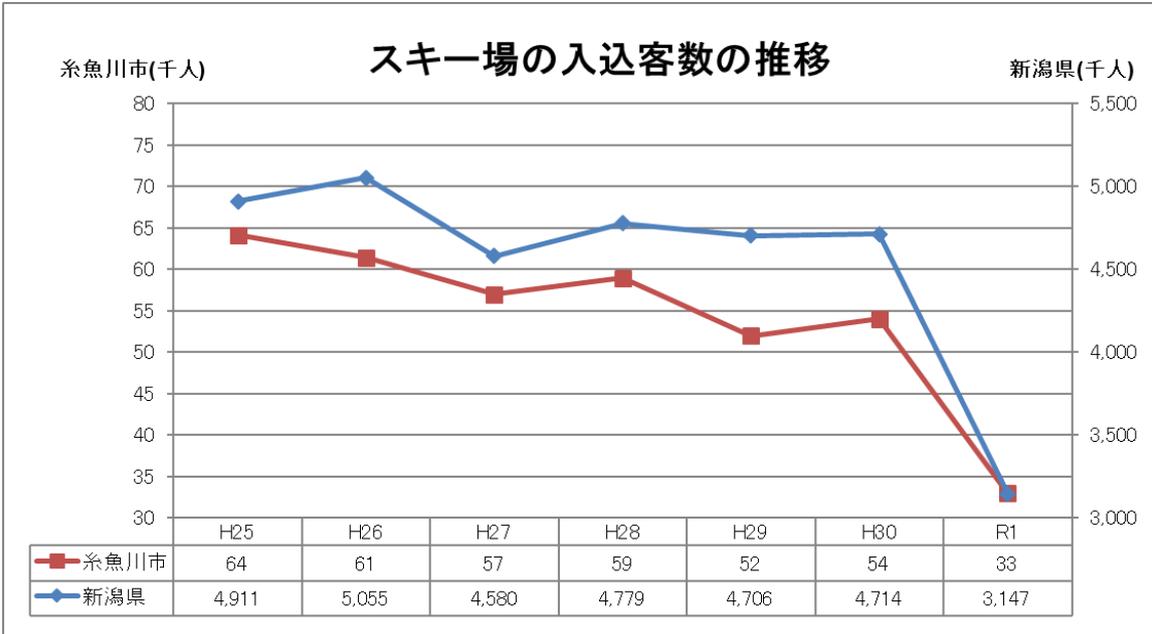
(2) 海水浴

- 糸魚川市の海水浴の入込数は、新潟県と同様の傾向を示している。
- 令和元年度は、7月の天候不順が影響し、入込数が減少した。



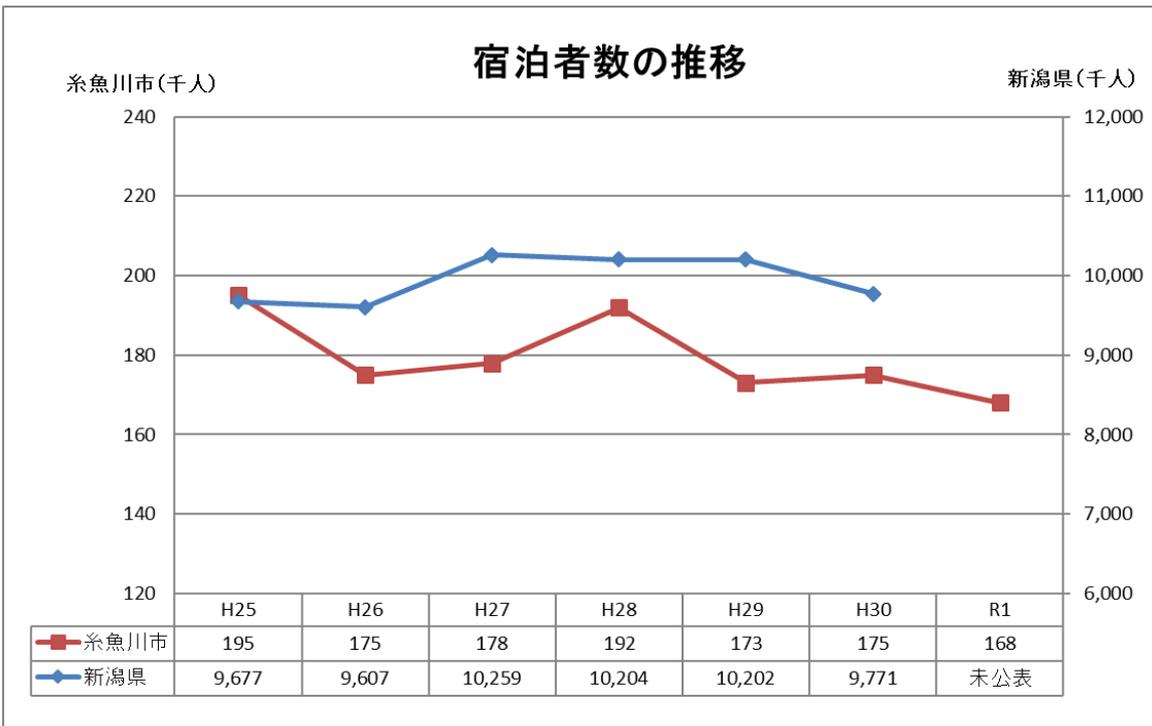
(3) スキー場

- 糸魚川市のスキー場の入込数は、新潟県と同様の傾向を示している。
- 令和元年度は少雪の影響から、シーズンを通じて営業を行えないスキー場が県内で11施設に及び、入込数が激減した。



3 宿泊者数の推移と新潟県入込客数との比較

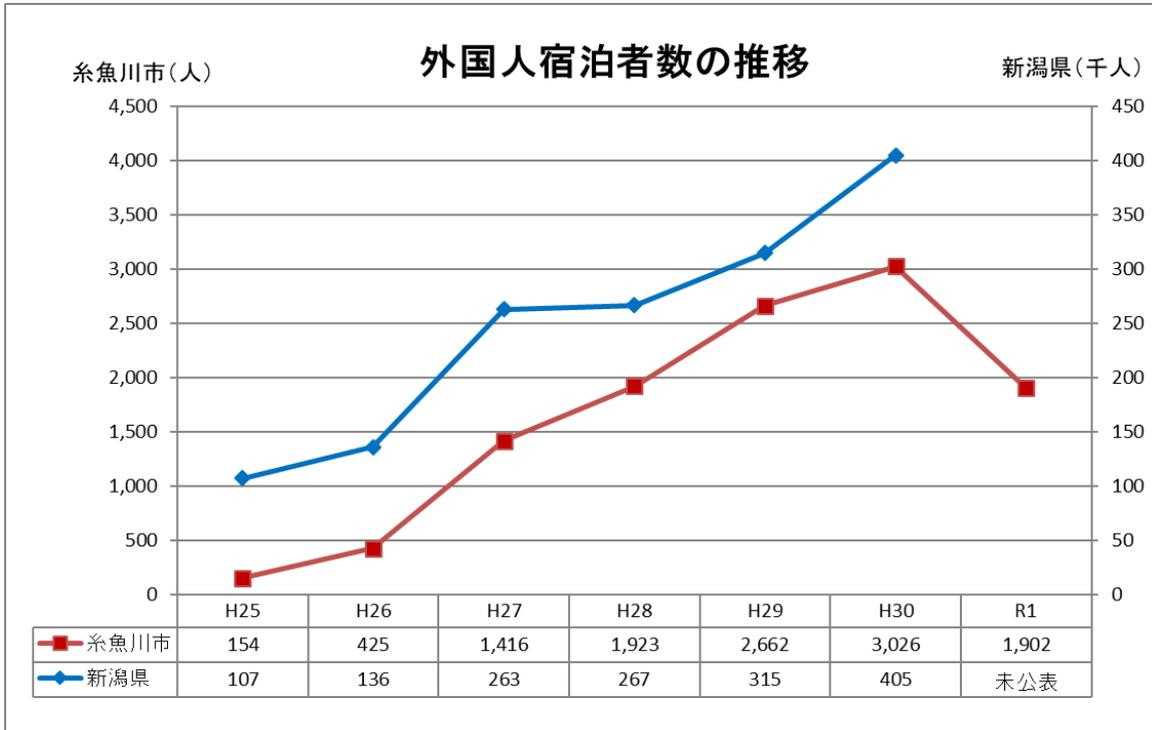
- 新潟県内の宿泊者数は平成23年度に1,000万人を突破し、概ねその水準を維持している。
- 糸魚川市内の宿泊者数は、北陸新幹線の開業に伴い平成27年度から増加傾向に転じていたが、平成29年度以降は開業以前の人数に戻っている。



4 外国人宿泊者数の推移と新潟県入込客数との比較

観光庁が実施・公表している宿泊旅行統計調査の数値をもとに図表に加えた。

- 糸魚川市の外国人宿泊者数は、新潟県と同様の傾向を示している。
- 年々増加で推移していたが、令和元年度は日韓情勢と新型コロナウイルスの影響により、37%減少した。



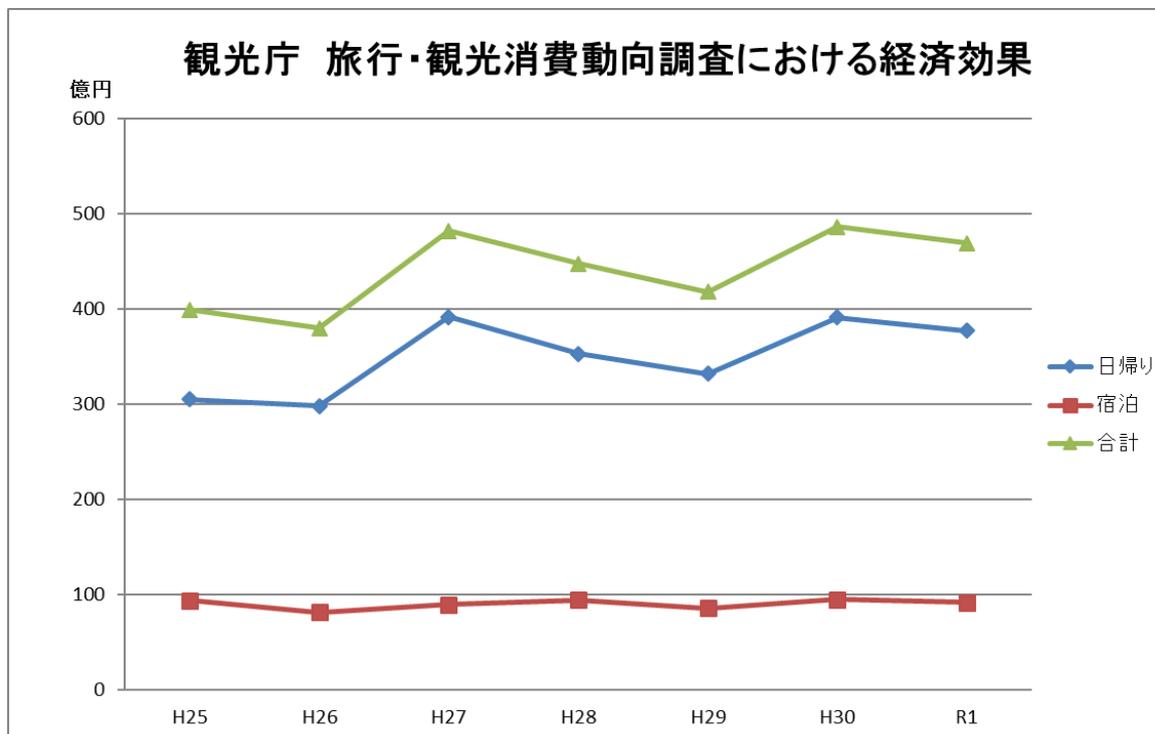
IV 経済効果

1 観光庁「旅行・観光消費動向調査」における経済効果

観光庁が発表している、旅行・観光消費動向調査に基づき経済効果を試算した。

- 北陸新幹線開業前後で、日帰り・宿泊の合計額が増加したが、その後ゆるやかに減少傾向にあった。しかし、平成30年度からは日帰り、宿泊ともに単価が増加したことにより、経済効果の合計額が増加した。

年度	日帰り			宿泊			合計 (億円)
	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H25	15,383	1,984	305	48,094	195	94	399
H26	15,206	1,962	298	46,717	175	82	380
H27	15,758	2,487	392	50,520	178	90	482
H28	15,602	2,263	353	49,234	192	95	448
H29	15,526	2,138	332	49,732	173	86	418
H30	17,285	2,263	391	54,300	175	95	486
R1	17,334	2,177	377	55,054	168	92	469



2 糸魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果

市内観光施設4地点において聞き取り調査を実施し、1人当たりの平均予算額から経済効果を試算した。

年度	区分	単価 (円)	日帰り		宿泊		合計 (億円)
			入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H25	飲食	1,292	1,984	26	195	3	215
	お土産代	7,118		141		14	
	宿泊費	16,417		-		32	
H26	飲食	1,103	1,962	22	175	2	146
	お土産代	4,572		90		8	
	宿泊費	13,902		-		24	
H27	飲食	1,197	2,487	30	178	2	193
	お土産代	5,038		125		9	
	宿泊費	15,236		-		27	
H28	飲食	1,085	2,263	25	192	2	202
	お土産代	6,271		142		12	
	宿泊費	10,911		-		21	
H29	飲食	1,111	2,138	24	173	2	198
	お土産代	6,611		141		11	
	宿泊費	11,072		-		19	
H30	飲食	1,598	2,263	36	175	3	167
	お土産代	4,472		101		8	
	宿泊費	10,750		-		19	
R1	飲食	3,291	2,177	72	168	6	227
	お土産代	5,476		119		9	
	宿泊費	12,793		-		21	

※参考

MICE測定モデルにおける経済効果

観光庁が平成23年3月に公表したMICE (Meeting, Incentive, Convention, Event / Exhibition) 測定モデルを用いて経済効果試算した。

(億円)

指標	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
1. 直接効果	172	165	208	200	186	195	186
2. 間接1次波及効果	135	129	163	157	147	153	147
3. 間接2次波及効果	78	75	94	90	85	88	85
経済波及効果(1+2+3)	385	369	465	447	418	436	418

V 令和元年度に講じた施策

令和元年度において交流人口を拡大させるため講じた主な施策は、以下のとおりである。

1 誘客宣伝活動の促進

(1) 観光素材の磨き上げ

- 海と山が近接している地形を生かし、それぞれの魅力を磨き上げ誘客を図る事業を実施

①海の魅力アップ推進事業

- ・「糸魚川の海へ行こう！キャンペーン」実施
実施期間…令和元年7月1日～令和元年8月31日

②山の魅力アップ推進事業

- ・白馬岳登山バス
運行区間…糸魚川駅～平岩駅前～蓮華温泉
実施期間…(ア) 令和元年7月13日～令和元年8月18日の毎日
(イ) 令和元年8月24日～令和元年10月14日の土・日・祝日
利用実績…(ア) 1,884人 (イ) 386人
- ・雨飾山・戸倉山登山タクシー
運行区間…糸魚川駅～戸倉山～雨飾山荘
実施期間…令和元年8月3日～令和元年10月20日の土・日・祝日(予約制)
利用実績…140人
- ・山のフォトコンテストの実施
実施期間…令和元年12月2日～令和2年2月29日
投稿数…352枚

③スキー場利用促進事業

- ・「糸魚川市スキー等レンタル利用料補助金事業」実施
実施期間…平成31年4月1日～令和元年5月6日
令和元年12月26日～令和2年3月31日
対象者…50歳以上、【R1シーズン新規】小学2年生以下を追加
利用実績…373件(スキーセット283件、スノーボードセット46件、
ウェア41件、スノースクート3件)

(2) 観光情報の発信

- インターネットを活用し、糸魚川の魅力を発信
- 糸魚川市観光協会と連携を強化し、観光情報のワンストップ窓口化を推進

①ホームページ(糸魚川観光ガイド)による情報発信

- ・新着情報、イベントカレンダー等の更新
- ・観光施設、観光素材の情報発信

②SNS(糸魚川市観光協会)での情報発信

- ・フェイスブック…フォロワー数 1,672人
- ・インスタグラム…フォロワー数 246人

- ③観光案内所の開設（5か所）
 - ・案内所問合せ件数……24,647件（対前年比96.8%）
- ④観光パンフレット請求件数……160件

(3) 効果的な宣伝活動の強化

- 様々なメディアを利用した広告出稿や市外観光キャンペーンの実施

項目	内容	回数
広告出稿	テレビ	1回
	新聞	4回
	雑誌	4回
	インターネット	1回
	その他	1回
観光キャンペーン	市外での観光PR	10回

(4) イベント等の実施と支援

- 糸魚川の認知度を向上させるため、市内イベント等に対する支援を実施

① 実行委員会など実施するイベントへの助成

- ・利用実績…17団体

② あんこうシャトルバス

- ・実施期間…(ア)令和2年1月26日（糸魚川駅～能生駅～マリンドリーム能生）
(イ)令和2年2月2日（糸魚川駅～親不知駅～親不知ピアパーク）
- ・利用実績…(ア)105人 (イ)63人

(5) 観光関連産業の活性化と地域振興

- 市内の宿泊数が落ち込む冬季にふるさと旅行券を発行することで、市内全体の宿泊数の底上げを図るとともに、市内への消費喚起・地域振興を図る事業を実施
- 民間団体と連携し、食を通じた情報発信を実施

① 糸魚川市ふるさと旅行券の販売

- ・概要…5,000円分の旅行券(宿泊券)を2,500円で購入可能(2,500円のプレミアム)
- ・販売期間…令和2年1月20日から令和2年1月29日まで
(完売のため販売終了)
- ・利用期間…令和2年2月1日から令和2年4月28日まで
及び令和2年5月7日から令和2年6月30日まで
(新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用期間を延長)
- ・利用宿泊施設…市内15施設
- ・発売箇所…全国主要コンビニエンスストア
- ・販売枚数…6,000枚



②うまいもん会への助成

- ・糸魚川市の食等を通じて糸魚川市の情報発信と特産品開発を図る。
- ・「ブラック焼きそば」、「ジオ井」、「メギス料理」

③五醸の会への助成

- ・市内5蔵の地酒を通じて、糸魚川市の情報発信を図る。

(6) 神話の物語を中心とした観光連携

- 島根県出雲市及び長野県諏訪市と、奴奈川姫の伝説をご縁とした、三市連携協定を締結し、「神話の縁結び かみがたりネットワーク」を設立した。

(7) 大学との観光連携協定

- 観光地域づくりの推進や人材育成等を通じて、地域活性化に寄与することを目的に観光連携協定を締結
 - ・相手方…新潟経営大学（加茂市）
 - ・連携事項…観光地域づくりの振興に関すること。
人材育成、研究教育及び情報交換に関すること。
相互の観光交流の促進に関すること。
その他目的を達成するために必要な事項に関すること。
 - ・協定締結日…令和元年8月22日

2 受入態勢の充実

(1) 観光地域づくりに向けた観光協会との連携強化

- 糸魚川版DMOの取組を進め、受入態勢について整備を進めた。

①糸魚川版DMO連携会議開催

- ・開催日…令和元年7月24日、令和2年1月15日
- ・協議題…マーケティング、ターゲットの絞込み、旅行商品企画・販売に向けて広域観光の連携、インバウンド推進委員会との連携推進。宿泊施設調査の実施、満足度調査、観光素材の洗い出しなど

②旅行部会

- ・開催日…令和元年6月24日
- ・協議題…企画旅行商品の造成、営業戦略など

③地域おこし企業人交流プログラム

- ・目的…糸魚川市観光協会における、旅行商品の造成や販売のための営業活動の充実と、観光協会職員のスキルアップ
- ・人数…1人（株式会社日本旅行から派遣）

(2) 体験型観光の推進

- 地域資源を活かした旅行商品の開発を行い、旅行エージェントなどとの連携を進め誘客を図った。（体験型観光、一般観光、モニターツアー等の調整）
 - ・53 ツアー 1,878 人泊
 - ・モニターツアー 11 人

(3) 広域観光連携の推進

- 広域連携のメリットを活かし、アウトドアアクティビティなどによりインバウンド客の誘客に向けた取組を行った。
- 鉄道の魅力を伝えることにより、北アルプス日本海エリアへの誘客を図った。

①北アルプス日本海広域観光連携会議

(ア)連携市町村

長野県大町市・白馬村・小谷村、富山県朝日町、新潟県上越市・糸魚川市
計6市町村

(イ)主な事業

(i)訪日プロモーション地方連携事業

- ・ターゲット…台湾、サイクリスト
- ・事業内容 …セールスコール、モニターツアー（旅行会社10社、プロガー5人）

(ii)サイクルツーリズム推進事業

- ・輸行バッグの無料貸し出しやサイクルトレインの試行などにより、サイクリストが安全に周遊できる環境整備を進めた。

(iii)鉄道フィギュアストラッププレゼントキャンペーン

- ・応募総数…1,203人

②上越・糸魚川・妙高広域観光ブランド推進検討会

- ・内容…3市の国内外の交流人口拡大、宿泊者数の増加など、エリア一体となって広域観光ブランドの確立に向けた取組等について検討した。
- ・事業…サイクリング推進事業
冬のインバウンド3市周遊促進事業

(4) 観光施設の整備運営

- 観光施設の適切な整備と管理運営を行い、施設の魅力や観光客の誘客を図った。

施設名	入込客数（人）
糸魚川ジオステーションジオパル	311,540
シャルマン火打スキー場	32,610
翡翠園、玉翠園・谷村美術館	20,280
高浪の池（白馬山麓国民休養地）	22,020

(5) 新幹線に対応した観光交通の確保

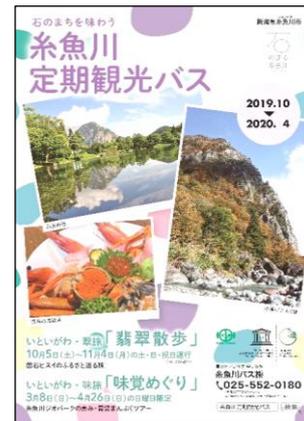
- 北陸新幹線など鉄道を利用し糸魚川市に訪される方の利便性を向上させることにより、誘客を図った。

① 定期観光バス

- ・ 実施期間…年5回 計31日間
※新型コロナウイルスの影響により、1回4日間が未実施
- ・ 利用実績…227人

② 募集旅行におけるバス借上料の助成

- ・ 利用実績…旅行商品数6本、129人



(6) インバウンド観光の推進

- 白馬に訪している外国人をターゲットにお食事バスを運行することで、糸魚川への誘客を図った。
- 民間団体と連携を行い商談会などへ参加した。

① 糸魚川シーフードシャトルバス

- ・ 実施期間…令和2年1月15日
～令和2年2月14日、10日間
- ・ 利用実績…167人

② インバウンド推進委員会との連携

- ・ 台湾旅行博（台北市）、台湾商談会（新潟市）への出展、参加、営業活動
- ・ 「食と観光～ローカルガストロノミーを考える」講演会（講師：株式会社自遊人 岩佐十良氏）の実施
- ・ エージェント等の受入対応

③ 国際交流員（CIR）配置

- ・ 目的…香港・台湾など中国語（繁体字）圏の国々を対象としたインバウンド事業の推進
- ・ 人数…1人（国籍：中国）





ジオまる



ぬーな

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク マスコットキャラクター

糸魚川市の観光の状況について（令和元年度版）
（令和2年6月発行）

編集・発行 糸魚川市産業部商工観光課
〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮1丁目2番5号
TEL 025-552-1511 FAX 025-552-7372